

課題

- 身近な地域に特別支援学校がなく、児童生徒や保護者の遠距離通学に伴う多大な負担
- 特別支援学校の設置義務は県にあるため、設置市は県立移管を要望
- 高等部・高等特別支援学校生徒の卒業後の就労先の確保
- 障害の重度・重複化に伴うたんの吸引等の医療的ケアを必要とする児童生徒の増加

現状・成果

- 特別支援学校未設置地域の解消
H25：富岡、H26：藤岡、H27：吾妻が開校
- 市立特別支援学校の県立移管
H25 伊勢崎・館林、H29 桐生予定
- 就労支援員の配置による職業自立の推進
H20：3人 → H23：4人 → H27：5人
- 看護師の配置による医療的ケアの推進
H26：14人、H27：17人、H28：19人

① 高等部整備

【施策の方向性】

○小学部から高等部まで地域で学ぶ教育環境づくりのため、高等部未設置地域への高等部の整備を進める

【具体的な施策】

- 沼田地域：H29 着工予定 H31 開校予定
- 藤岡地域：整備予定
- 富岡地域：整備予定
- 吾妻地域：整備予定

知的特別支援学校在籍者の推移(H21～H28) 単位(人)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
高等部	682	727	746	769	751	754	776	806
全学部	954	1,003	1,017	1,049	1,221	1,271	1,310	1,382

H24年度までは、館林及び伊勢崎を含まず

② 就労支援

【施策の方向性】

- 高等部生徒の一般就労を促進する
- 地域と結びついた新たな作業種の開発と製品のブランド化を進める

【具体的な施策】

- 就労支援員による実習先の開拓及び雇用先の確保
- 企業採用担当者学校見学会の実施
- 尾瀬・片品地域の鹿皮を利用した作業学習への鹿革加工の導入
H28：高崎、高崎高等 H31：沼田

一般就労率の推移(H21～H27) 単位(%)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
就労率	30.6	35.3	30.4	35.5	38.7	34.8	35.3
全国順位	5位	1位	8位	6位	3位	8位	未定

<障害政策課>

- ・就労移行支援や余暇活動の充実

<労働政策課>

- ・企業への理解・啓発の促進

③ 重度重複障害教育

【施策の方向性】

- 重度重複障害児の教育の充実や保護者の負担軽減のため、通学や医療的ケアに係る環境整備を進める

【具体的な施策】

- 二葉・二葉高等特別支援学校へのスクールバスの導入を検討
- 医療的ケアを必要とする児童生徒の増加への対応

学校・対象者・看護師の推移(H21～H27) 単位(校・人)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
学校	4	4	4	4	6	6	9	9
対象者数	43	57	57	64	66	71	75	76
看護師数	8	9	10	11	13	14	17	19

<医務課>

- ・小児等在宅医療連絡協議会における調査・研究や研修の相互乗り入れ